

特別栽培米の作付け拡大を

JA 越前たけふは、米(特選しきぶ米)のブランド力を高めていくため、特別栽培米の面積を拡大し「安全・安心・信頼」日本一を目指してまいります。

「環境にやさしい米づくり」をアピールすることで、越前たけふ米のイメージアップを図りながら、少しでも「高く売れる米を作ろう」という生産者の努力が十分に報われるよう、品質や食味の一定基準を超えるものにはインセンティブ買入制度を実施することで、意欲ある生産者を支援します。

■ 24年産米のインセンティブ買入制度 ■

単位：1俵あたり

整粒・食味値 品種	特別栽培 1 等			特別栽培 2 等
	整粒判定 70%以上		左記以外	
	食味値 85 以上	食味値 80 以上 85 未満		
コシヒカリ	17,000 円概算	15000 円概算	慣行比 1,000 円加算	慣行比 500 円加算
あきさかり	慣行比 800 円加算			-

■ 目標面積 500ha (コシヒカリ450ha、あきさかり50ha) ■

平成23年度の実績と本年度の目標(基幹支店別) 単位：ha

基幹支店名	平成23年度実績	平成24年度計画
中央	23.7	39
南部	121.5	126
東部	103.8	139
西部	71.4	102
南条	67.1	88
今庄	1.6	6
合計	389.1	500



認証区分④



認証区分③

■ 申請相談について ■

JA 越前たけふによる特別栽培米の団体申請は、各基幹支店や支店・支所ごとに申請相談を実施しております。

作付けを希望される農家の方は、最寄りの支店・支所の営農指導員へお問い合わせください。特別栽培米は品種ごと、認証区分ごと、移植・直播ごとに肥料農薬が特定されていますので、ご注意ください。

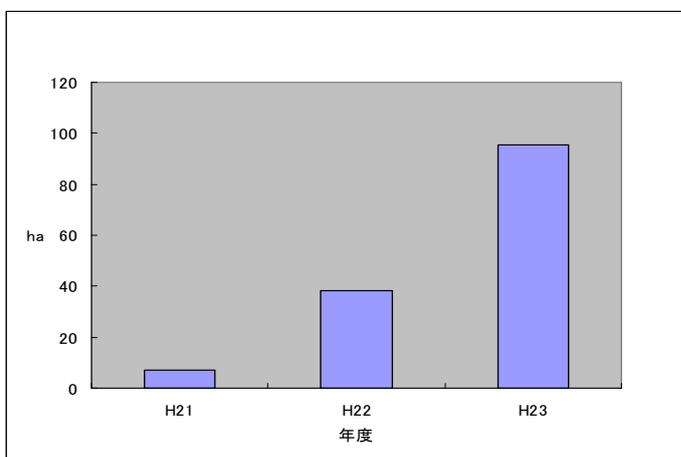
JAとしての取りまとめは3月末までとしておりますが、早めの相談をお願いいたします。

あきさかり作付けのお奨め

あきさかりは、コシヒカリと同等程度の食味値があり、管内でも毎年作付けが増えてきております。今年度より、あきさかりについても特別栽培米のインセンティブ買入制度を新設しました。コシヒカリと比較して出穂時期が遅くなるので、特に平坦部で外観品質向上が期待されます。また大規模農家や集落営農組合での作期分散としての推奨しております。

- 品種の特性■ 収穫期が「コシヒカリ」と比べ、10日程度遅い。（播種日が同じ場合）
短稈で倒伏しにくい。
千粒重も大きめで、収量性も高い。
白葉枯病、紋枯病には弱いので、発生に注意する。

■作付面積の推移■



■ あきさかりの特性(熟期と草型) ■

	コシヒカリ	あきさかり
熟期	中生の早	晩生の早
出穂期	8月8日	8月16日
	←8日→	
成熟期	9月10日	9月21日
	←11日→	
稈長	91 cm	72 cm
穂長	19.7 cm	18.0 cm
穂数	393 本/m ²	452 本/m ²
耐倒伏性	弱	強
穂発芽性	難	やや難

(農試奨励品種決定調査 2005~2007)



左からあきさかり、コシヒカリ、日本晴

■施設対応■

JA 施設対応として、良質米出荷施設では慣行栽培、特別栽培米を問わず荷受します。カントリーエレベーターでは、慣行栽培のみ南条カントリーエレベーターで荷受します。